



佐土原ロータリークラブ週報



会長: 林 厚雄	会計: 柳田 光寛
副会長: 岩切 正司	会報委員長: 宮原 建樹
幹事: 藤堂 孝一	

2004-2005年度R I テーマ

第882回 平成17年5月18日(水)

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 食事の時間
3. ロータリーソング
「手に手つないで」
4. 四つのテストの唱和
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. ゲスト卓話
8. 点 鐘

第881回の記録 平成17年5月11日(水)

☆会長の時間 会長 林 厚雄君

5月の連休も終わり、新緑の季節となり、野山には若々しい緑があちこちで見られ、公園などには美しい花々が咲き乱れています。年間でも目と心の安らぎを感じる季節です。

今日のお客様は高鍋クラブの岡師義孝君と、6月より新入会員として初の女性会員となります永野陽子さんの2名です。

昨夜、理事会を開き次年度の役員・理事の選出の委員会を行いました。名簿は別紙の通りです。今日の会長の時間は、四つのテストについて、その由来をご紹介いたします。

四つのテストの創案者はハーバート J テーラー(ハーブ)でやり手で卓越したセールスマンであり、また行動家で信仰心が厚く、道義を重んじる人でした。彼は1893年(112年前)に米国ミシガン州に生まれイリノイ州のノースウェスタン大学を苦学の末卒業しました。卒業後第一次世界大戦で米国海軍の補給部隊員に従軍しています。1919年には結婚してオクラホマ州に住み、石油会社に勤務しましたが、1年後には同社を退社し、保険、不動産、石油リース仲介業を始めました。1925年にはイリノイ州に戻り、シカゴのジェル・ティー社に入社しとんとん拍子に昇進しました。やがて彼は、シカゴロータリークラブの会員となりました。

1932年、ジュエル・ティー社の次期社長候補であった彼は当時破産寸前の状態であったシカゴのクラブ・アルミニウム社の再建を依頼されました。彼はジェル社を辞め、これまでの給与の8割減という収入でクラブ・アルミニウム社の社長に就任しました。その上、運営資金に充てるため、自己資金6,100ドルを同社に投資したのです。

彼は、およそ100語からなる文章から社の倫理訓について構想をめぐらせましたが、これは長すぎると判断し、それを7つの項目にまとめたのです。しかし、これも長いと考え彼は、それを自問形式の4項目にまとめ上げ、それが、現在の四つのテストとなりました。簡潔さの中に深い意味を含むこのテストは、事の大小にかかわらず、クラブ・アルミニウム社が諸事決定を下す際の基本となったのです。

しかし、この四つのテストが実社会でうまくいくだろうか?実業家がこの指針に従って仕事をこなしていくだろうか?と言う疑問も残され、ある弁護士は彼にこう言いました「もし、私がこのテストを厳密に実行したら、私は飢え死にするでしょう。ビジネスに関しては、四つのテストは、絶対に実行不可能です」。この弁護士の懸念も、わからないではありません。他者の利益を立脚点とした上で、真理を実践し、行動評価を求める倫理システムは、どんなものであれ、大きな負担を伴います。

そのようなシステムは誠実さと野望のバランスをとるのに腐心している人たちに、苦痛に満ちたかつ葛とう籐をあたえることになります。またロータリアンの中にも、四つテストは極度に単純化された哲学であって、その有効性は疑わしく相矛盾する趣旨からなっており、目標は非現実的である、と真剣に考へている人たちが常に存在します。

1930年代のクラブ・アルミニウム社において四つのテストに照らして判断された内で、広告については「より良い」とか「最上の」といった表現が削り除かれました。四つのテストは徐々に同社の指針となって行き、顧客や従業員の間に、同社に対する信頼と好意が生まれることになりました。やがて、同社に対する信望は高まり、財政の改善に寄与することになり、1937年までに、同社の負債は完済され、その後15年間に純資産は200万ドルに達しました。

例会場: 石崎浜荘 0985-73-1913 事務局: 〒880-0303 宮崎郡佐土原町東上那珂 10255

斎藤美喜代

例会日: 毎週水曜日 12:30 ~ 13:30 T E L: 0985-30-5766 F A X: 0985-30-5788

幹事報告

幹 事

藤堂孝一 君

ロータリーは奇跡です。

1. 例会変更通知

なし

2. 地区協議会の案内

日時 2005年5月29日(日曜日)10:00~15:30

場所 ワールドコンベンションセンター・サミット
出席義務者

会長・岩切正司
幹事・柳田光寛
会計・荒武義博
クラブ奉仕委員長・佐藤高元
職業奉仕委員長・梶田與乃助
社会奉仕委員長・福井輝文
国際奉仕委員長・岩下廣美
R I 財団・後藤明夫
米山 奨学・正岡文郁
新世代・村岡博
ライラ・林厚雄
アクト・藤堂孝一
親睦・吉田康一郎
情報・中武幹雄

3. 5月18日例会

ゲスト卓話・南クラブの阿南公章君

欲深い世の中、平気で他人を利用しようという人々が少なくないこの世の中で、ロータリアンは常に与えようという姿勢を身に付けています。理解し合い、建設的に歩み寄る心構えができます。

ロータリーは奇跡です。なぜなら、暴力が横行し、心の狭さが当たり前となり、特定の道徳や政治や宗教的信条に対する誠に狭い忠誠心が重要視されているこの世の中で、ロータリアンは人種や信仰など、気にもかけず、どんな人にも友情の手を差し伸べ、機会を提供するからです。

ロータリーは奇跡です。なぜならより良い世界の姿を垣間見せてくれるからです。ロータリーは、いつの日か平和な世界、すべての人に平等な機会を与える社会を実現できると信じて進んでいるのです。

ロータリーの奇跡は会員一人一人の心の中に存在しています。そして、私は一つのためらいもなく申し上げます。この世界最高の奉仕機関の最も貴重な財産はその会員である、と。

過去100年間のロータリーの発展は、まさにロータリアンの仕事の賜物です。この100周年度における今日のロータリーは、目覚しいクラブの拡大があったからこそ、ここまで発展することができたのです。私たちが代表する166の国それぞれにおいて、会員こそが私たちの成功の鍵となり続けるのです。

出席報告

出席委員長

梶田與之助 君

会員数	29名
例会出席者	20名
出席率	68%
メーカーアップ者数	2名
修正出席率	76%
欠席者数	

今日のお客様 高鍋R・C 図師義孝 君

平成17年2月末現在 九州地区クラブ状況	
第2730地区	第2740地区(長崎・佐賀)
クラブ数 64クラブ	クラブ数 58クラブ
会員数 2,656名	会員数 2,617名
出席率 83.79%	出席率 85.40%
第2720地区(熊本・大分)	第2700地区(福岡・佐賀・長崎)
クラブ数 75クラブ	クラブ数 59クラブ
会員数 2,848名	会員数 3,411名
出席率 85.7%	出席率 91.07%

次回予告

☆ 5月25日 年度活動方針
(会長エレクト 岩切正司 君)

☆ 6月1日 次年度委員会活動方針
(次年度各委員会委員長)

☆ 6月8日 会員卓話

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか